

2022年度 ～主要事業報告書～



2023年 3 月



公益財団法人 全日本柔道連盟

All Japan Judo Federation

2022年度主な事業活動内容



- ① 日本代表選手の活躍
 - ・ 2022タシケント世界柔道選手権大会
- ② 2022年度全日本柔道連盟主催大会
- ③ 安全な競技活動のための取り組み
- ④ 「Judo for ALL」の推進
- ⑤ オンライン柔道教室
- ⑥ 女子柔道の振興・女子柔道家の活動支援
- ⑦ 動画配信事業
- ⑧ 柔道を通じた人づくり・人間教育



①日本代表選手の活躍 (2022タシケント世界選手権大会)

- 開催国 ウズベキスタン(タシケント)
- 日程 10月6日(木)～13日(木)
- テレビ放送 フジテレビ系列にて8夜連続中継 ※ FODにて全試合LIVE配信

60kg級	高藤 直寿(優勝)
66kg級	阿部 一二三(優勝)
	丸山 城志郎(2位)
73kg級	橋本 壮市(2位)
81kg級	永瀬 貴規(3位)
	藤原 崇太郎(5位)
90kg級	増山 香補(2回戦敗退)
100kg級	飯田 健太郎(2回戦敗退)
100kg超級	斉藤 立(2位)

48kg級	角田 夏実(優勝)
	渡名喜 風南(7位)
52kg級	阿部 詩(優勝)
57kg級	舟久保 遥香(2位)
63kg級	堀川 恵(優勝)
70kg級	新添 左季(3位)
	田中 志歩(5位)
78kg級	濱田 尚里(5位)
78kg超級	富田 若春(3位)

男女混合団体戦 優勝【5連覇達成！】



①日本代表選手の活躍 (2022タシケント世界選手権大会)



② 2022年度全日本柔道連盟主催大会 開催状況

	大会名	開催状況
①	全日本選抜柔道体重別選手権大会（福岡国際センター）	2022/4/2～4/3
②	皇后盃全日本女子柔道選手権大会（横浜武道館）	2022/4/17
③	全日本選手権大会（日本武道館）	2022/4/29
④	全日本小学生学年別柔道大会（横浜武道館） ※	2022/8/28
⑤	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会（埼玉県立武道館）	2022/9/10～9/11
⑥	マルちゃん杯全日本少年大会（東京武道館）	2022/9/18
⑦	講道館杯全日本柔道体重別選手権大会（千葉ポートアリーナ）	2022/10/29～10/30
⑧	グランドスラム東京（東京体育館）	2022/12/2～12/4
⑨	全日本シニア柔道体重別選手権大会（大浜武道館）	2023/2/19
⑩	全国高等学校選手権大会（日本武道館）	2023/3/20～3/21



③ 安全な競技活動のための取り組み 情報発信

全柔連医科学委員会に新しく感染症対策の医師を招き、皆様がより安心・安全に柔道の活動ができるように対策を行っております。

各大会のライブ配信はもちろんのこと、柔道教室や指導者への講習会においても、オンライン化を進めております。



連盟HPでの情報発信



WEB講習で、全国
どこからでも受講可能に



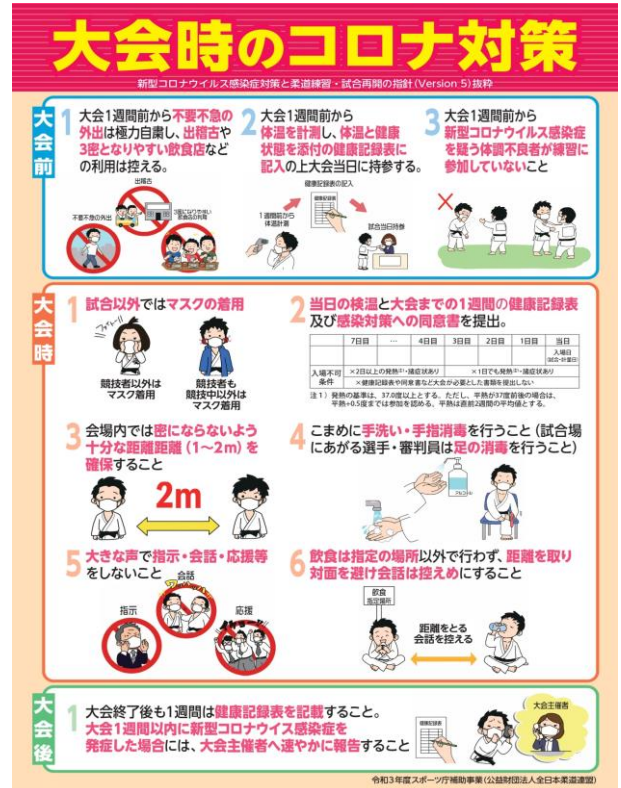
大会時のコロナ対策

③ 安全な競技活動のための取り組み 重大事故対策委員会

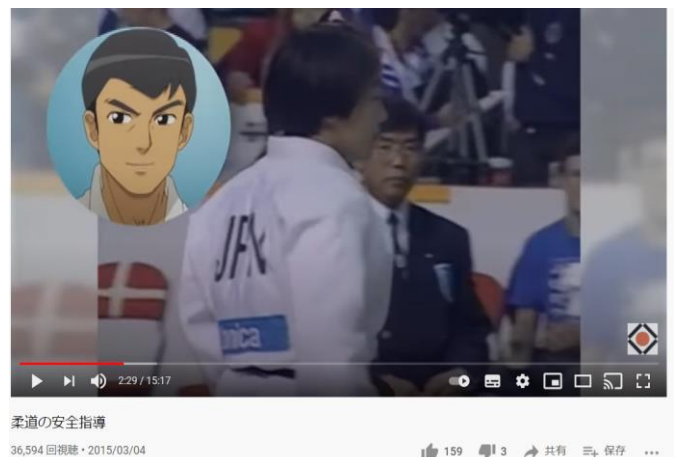
重大事故ゼロを目指した取り組みとして、漫画版のわかりやすく親しみやすい資料や重大事故を未然に防いだ指導者の好事例集など、新たな視点の事故防止の資料集を作成し、安全な柔道の活動のため啓発事業を行います。



漫画版啓発冊子



イラストガイド



連盟HPでの情報発信

④ Judo for ALL の推進

「Judo for All」のスローガンのもと、年齢、性別、障がいの有無の分け隔てなく、誰もが柔道に親しめる環境作りに取り組んでおります。

パラリンピック競技である視覚障がい者柔道のみならず、関連団体との連携を深め、知的障がい者柔道やろう者柔道の振興を目指します。



【第3回全日本ID(知的障がい者)柔道大会】



【ブリスベン 2022 Virtus オセアニア・アジアゲームズ】



【第24回夏季デフリンピック競技大会(ブラジル)】



⑤オンライン柔道教室

当連盟では、子どもたちに「柔道の楽しさ」や「教育的な価値・知識」を伝える機会として、オンライン柔道教室を開催し、2022年度には10回実施することといたしました。



公益財団法人日本スポーツ協会の協力のもと、子供達が楽しんでウォーミングアップできるよう遊びを取り入れた「アクティブ チャイルド プログラム」を導入し、参加者から多くの反響をいただきました。



⑥ ジェンダーバランスの推進（女子柔道振興）

都道府県連盟における女性役員の登用促進や女子学生へのキャリアアップセミナーを実施し指導者・審判資格の取得、競技引退後の充実を図り、各ステージにおける女子柔道家の活躍を促進しております。また、当連盟においても、積極的に女性役員を登用し、ジェンダーバランスの推進を行っております。

今年度も女子柔道キャリアアップセミナーのWEB開催、JJ Voice企画の実施等を実施しております。

- ▶ 女子柔道キャリアアップセミナー
(2022年7月16日 (土))
参加者の利便性向上し、
全国21大学約300名が参加



- ◀ 大会会場内の託児室設置
連盟が主催する大会において、大会
会場内に託児室を設置しております。

- ▶ JJ Voice
女子柔道にゆかりの深い方々に
リレー形式で今後の女子柔道界や
後輩たち、そして柔道ファンへ
勇気とパワーをお届けする
メッセージを発信しております。



女子柔道振興委員会

↓ QRコード ↓



⑦ 動画配信事業（全柔連TV）



新たな情報発信プラットフォーム

チャンネル登録：約4.88万人

視聴回数：約1815.3万回

再生時間：約166.8万時間

※2023年4月3日現在



各大会の
ライブ配信



サッカー×柔道
(パリ・サン＝ジェルマン)



360度ボリュームメ
トリック映像



2022世界選手権
解説動画



全日本合宿の
限定動画



ルール解説動画



スペシャルコラボ動画

[illegible][illegible]

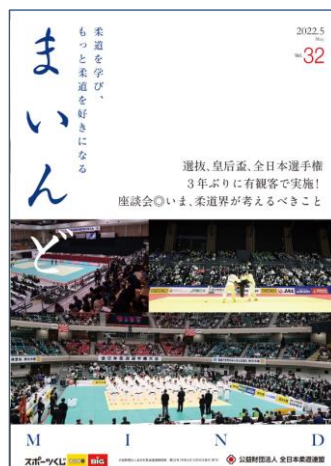
⑧ 柔道を通じた人づくり・人間教育 柔道MIND活動

礼節(Manners)・自立(Independence)・高潔 (Nobility)・品格 (Dignity)の頭文字を取り2014年に始まった「柔道MIND活動」

子供たちが柔道を通してこれらの精神を身につけ、鍛えた心身を活かして次世代の社会を担う人材となるよう、人づくり・人間教育に引き続き取り組んでまいります。



公益財団法人 全日本柔道連盟



ご参考（支援企業一覧） ※2022年10月1日現在

年間スポンサー一覧

東建 東建コーポレーション

Mizuno

Knt 近畿日本ツーリスト

東洋水産

SEIKO

KOMATSU

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

JAL

POCARI SWEAT

JR東日本

シンスウ

大和証券
グループ

Times

MIZUHO

V-TECHNOLOGY

airweave

omo
丸大食品

羽田タートルサービス(株)

AsahiKASEI

日本エースサポート
仁寿会

ALSO

NIPPON EXPRESS
日本通運株式会社

TPR

豆蔵

伊藤超短波

KUSAKURA

BESTERRA

JR九州

2022年10月1日現在

私たちは全日本柔道連盟を応援しています

特別賛助会員一覧

ITOCHU 伊藤忠商事

今治造船株式会社

Shin-Etsu
信越化学工業株式会社

sojitz 双日株式会社

トヨタ自動車株式会社

NIPPON STEEL

HANWA

Marubeni
丸紅株式会社

MIZUHO

SMBC 三井住友銀行

MITSUI & CO.
三井物産株式会社

三菱商事

2022年7月1日現在 五十巻編

